



秋山みつる眼科通信

今年もあと1か月となりました。
忙しい季節ですが、体調管理などお気を付けてください



特集

コンタクトレンズ障害

とても身近になったコンタクトレンズ、正しく使用し、定期検診を受けていますか？
間違った使い方をしてしまうと、眼に障害が起きることがあり危険です。

ハードコンタクトレンズの特徴

- ・異物感を生じやすい・外れやすい
- ・障害が起きた場合、初期に痛みが出る為、重篤な障害を生じにくい
- ・角膜の乱視矯正に優れている

ソフトコンタクトレンズの特徴

- ・装着感が良い
- ・障害が起きた場合に気づきにくい
- ・汚れやすい
- ・耐久性・角膜の乱視矯正が低い

障害とその原因

障 害

原 因

悪
化

◇点状表層角膜症 (てんじょうひょうそうかくまくしょう)

角膜の一番上にある層の細胞が脱落している状態です。

◇角膜上皮びらん (かくまくじょうひびらん)

角膜上皮がはがれている状態です。

◇角膜浸潤 (かくまくしんじゅん)

角膜に傷ができて炎症を起こした状態です。

◇角膜潰瘍 (かくまくかいよう)

角膜浸潤が悪化し、深い傷が進行した状態です。
感染を伴った場合は失明の危険性もあります。

- ・レンズによる酸素不足
- ・レンズと角膜の摩擦
- ・レンズの汚れ
- ・感染

予防するためには…

- ・眼科専門医による定期健診を受ける
- ・レンズに合った正しい使い方をする
- ・レンズをよく洗浄・消毒し、正しいケアをする
- ・何か異常を感じた場合はすぐにレンズの使用を中止し、眼科を受診する



気軽に使用できるコンタクトレンズですが、違和感などを放置して使い続けると、失明に繋がる場合があります。正しい使用と定期検診を！

